

第 6 回 SMG 杯 札幌 ミックスダブルス 選手権大会 競技方法等 事前 通知事項

本大会は、JCA 競技規則 2015.01 版、2016.02 改正事項 (JCA ホームページを参照)、2016.10 世界カーリング連盟競技規則改正事項及び下記のルールに基づき行います。競技規則及び本書を熟読の上、大会に参加するようにお願いします。カーリング精神に則り、選手の協力をお願いします。

「ポジション A」の石の位置は、チームミーティングにて審判長より通知する。

(ポジションについては、最終頁を参照のこと)

I 予選リーグ

1) 試合方式

- ・1 リーグ 3 チームの総当たり戦
- ・試合の長さは 6 エンド又は 72 分とする。
- ・エキストラエンドは実施しない。
- ・8 分前コールを行うので、そのエンドで試合を終了すること。

2) 予選の順位付け

- ・予選の順位は、勝点 (ポイントは、勝:3、引き分け:1、負け:0) の多い順で決める。
- ・勝点と同点の場合は、直接対決により勝利したチームを上位とするが、それによって決まらない場合は、試合前に投球する LSD の合計値 (以降、DSC と呼ぶ) の少ない方を上位とする。
DSC が同値の場合は、個々の LSD を比較し短いチームを上位とする。これらにより決まらない場合は、トスにより順位を決定する。

3) LSD、試投、石の選択

- ・試合開始前に、各チーム 1 人ずつ LSD を行うこと。2 試合目は 1 試合目で投球しなかった選手が行うこと。
- ・石の回転方向は、1 試合目は時計回り、2 試合目は反時計回りの順で投球すること。これを守らなかった場合の記録は、185.4cm とする。
- ・各試合における LSD 投球者のみ、1 投の試投を認める。
- ・LSD の投球の順番はトスにより決定する。先に投球するチームは赤色石、後のチームは黄色石を使用すること。
- ・LSD の計測及び記録は各チームで行うこと。

4) 石の配置

- ・LSD が短いチームに、1 エンド目の石の配置 (“A”又は“B”のポジション) の選択権を与える。

なお、LSD が同値の場合はトスにより選択権を決定する。

- ・ストーンは任意の 6 個を選択すること。

5) パワープレイ

- 1 試合 1 回認める。各スキップ同士で確認し配置すること。

6) 点数の決定、計測

- ・基本的にセルフジャッジとするが、計測が出来ない場合は審判員又は競技役員に声をかけること。
- ・各エンドの点数の掲示は各チームで行うこと。

7) その他

- ・試合終了後のアイスの掃除は勝ったチームが行い、負けたチームはスコア表を本部に提出すること。
- ・必要に応じてアイスメイクを行うことがあるので、ご承知願いたい。

II 決勝トーナメント

1) 選抜方法、トーナメントの割り当て

- ・予選各リーグ 1 位、及び各リーグ 2 位のうち、DSC の成績が良い 6 チームを選抜し、16 チームでトーナメントを行う。
- ・予選リーグ 1 位チームは、決勝トーナメント No. 1～10 に割り当てる。
割り当ては、大会本部で該当チームにより一斉抽選を行う。抽選時期は下記のとおり。
リーグ A～E1 位: 第⑤試合終了後、リーグ F～J1 位: 第⑥試合終了後
- ・予選リーグ 2 位チームの対戦組み合わせは、No. 6-DSC1 位、No. 7-DSC2 位、No. 8-DSC3 位、No. 9-DSC5 位、No. 10-DSC6 位とする。

2) 試合方式

- ・試合の長さは「I 予選リーグ」と同様。
- ・10 分前コールを行うので、そのエンドで試合を終了すること。
- ・試合終了時点で同点の場合、代表 1 人による LSD により勝敗を決定する。
なお、このときのストーンの回転方向は問わない。LSD が同値の場合はトスにより決定する。

3) LSD、試投、ストーンを選択

- ・試合開始前に各チーム代表 1 人による LSD を実施すること。このときのストーンの回転方向は問わない。
- ・LSD 投球者のみ、1 投の試投を認める。
- ・LSD の投球の順番はトスにより決定する。先に投球するチームは赤色ストーン、後のチームは黄色ストーンを使用すること。
- ・LSD の計測及び記録は各チームで行うこと。

4) ストーンの配置、5) パワープレイ、6) 点数の決定、計測については、「I 予選リーグ」と同様。

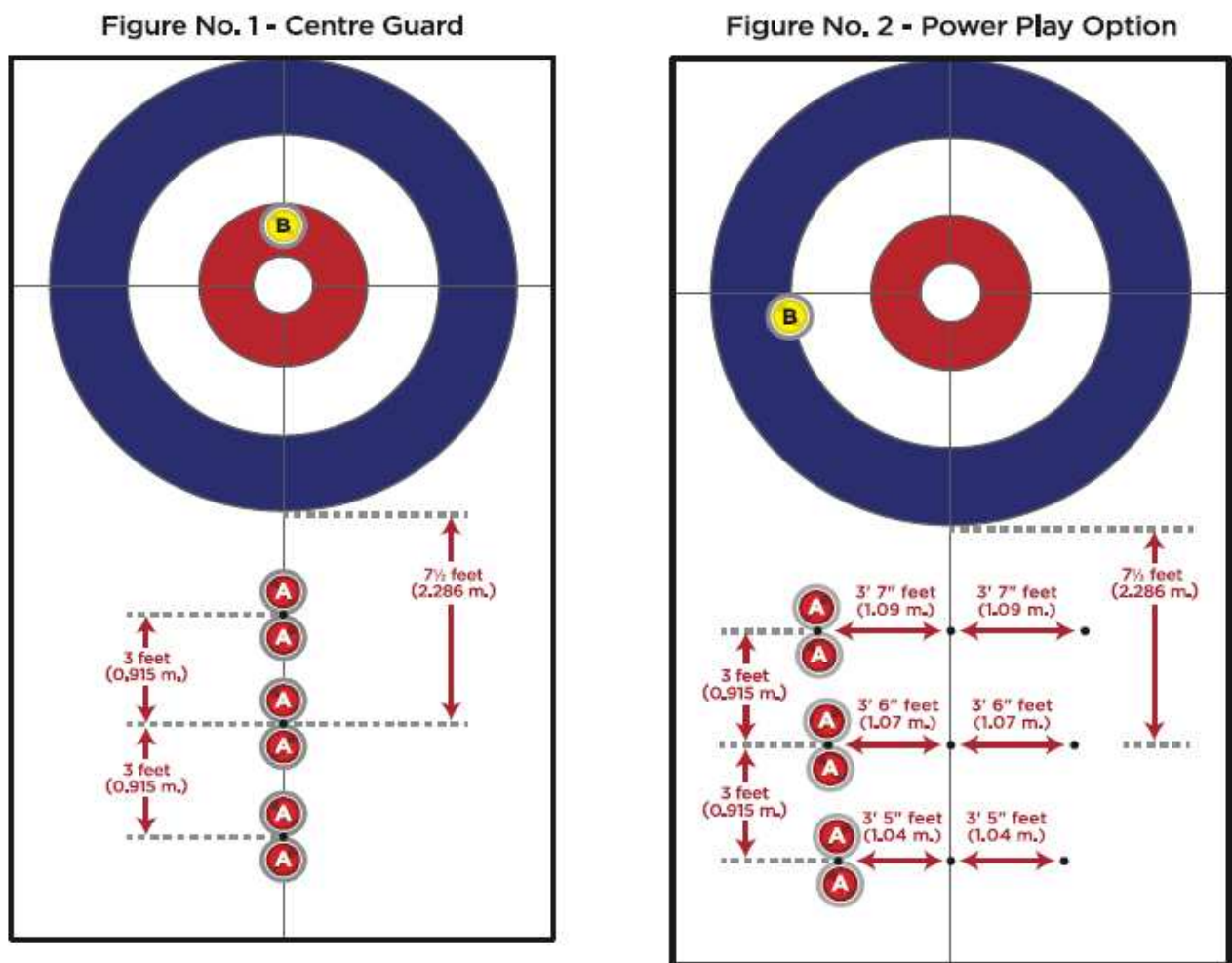


図 ポジション A の配置場所
 (左: センターガード、右: パワープレイ適用時)